

## 製品・技術 PR レポート

## 1. 企業概要

会社名	前橋橋本合金株式会社		代表者名	橋本 実			
			窓口担当	奥野 祐			
事業内容	アルミ合金、マグネ鋳物製造業		URL	<a href="http://www.hashimoto-alloy.co.jp/index.html">http://www.hashimoto-alloy.co.jp/index.html</a>			
主要製品	重電機器部品、半導体製造装置部品製造						
住所	〒371-0852 群馬県前橋市総社町総社2117-1						
電話/FAX 番号	027-251-4012/027-251-2131		E-mail	info@hashimoto-alloy.co.jp			
資本金(百万円)	10	設立年月日	昭和 38 年 10 月	売上(百万円)	584	従業員数	56

## 2. PR事項

## 『高気密』 + 『パイプ鋳込み』へのこだわり

当社は「多種少量の高付加価値、高品質製品の開発」をポリシーに、アルミニウム、マグネシウムという素材を中心に、鋳物製品の軽量化、高剛性化の追求とともに、常に次世代を見据えた新技術を開発し続けています。

## ●高気密

“高気密大型アルミ鋳物の鋳造”技術は、電力遮断機用高圧ガス容器や、半導体製造装置用真空容器等の鋳造製品の性能向上に大きな効果を与えています。

気密度の高い大型アルミ容器（電力遮断用高圧ガス容器及び半導体製造装置用真空容器）を製造できる技術は、長年に及ぶ基礎データの蓄積や、群馬工業専門学校との共同研究において行った各種の解析等により裏付けられた技術であり、再利用の容易なアルミ合金で製造できるようにした『環境に優しい鋳造技術』です。

◆鋳物部品に対し当社が通常行うリークテストにおけるリークレートは  $1.0 \times 10^{-8} \sim 1.0 \times 10^{-9} \text{Pa} \cdot \text{m}^3 / \text{sec}$  です。

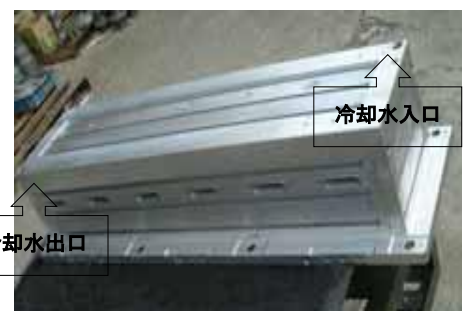


## ●パイプ鋳込み

アルミ合金鋳物にステンレスパイプ等を高い気密性を保ったまま鋳込む製造技術は半導体製造装置や FPD 製造装置ばかりではなく、液晶製造分野、太陽光発電装置分野にも着目され始めています。

アルミ合金鋳物にステンレスパイプ等を単純に鋳込むだけでなく高い気密性を保持できるところが当社の技術の特徴であり、さらに表面欠陥のない鋳込み技術により半導体や液晶、太陽光発電装置関連製品への採用が増加しています。

当社では特殊形状の鋳込み技術に挑戦を続け、加熱時の変形及び膨張、効果的な固定方法等の問題を解決した結果、鋳込み出来るステンレスパイプの形状



を多彩なものとすることができました。現在ではFPD関連の真空チャンバーをはじめ各種半導体製造装置部品など幅広く手掛けています。

## 3. 特記事項（期待される応用分野等）

- ・2011/07 群馬県労働基準協会連合会長より優良事業場として表彰されました。
- ・2012/07/04 群馬労働局長より安全衛生優秀事業場として表彰されました。